

山菜山行(越後白山)報告

【山城】新潟県の山 【日程と天気】2017/5/13：雨 5/14：晴れ

【メンバー】柘植秀樹(CL)・小倉時義(SL)・加藤洋子・杉山喜代枝・井上里美・井上志津子
齊藤一郎・大木裕美子(食担)・石井恵子・磯部菊子(記録)

【行程】5/13(土) 0:30 道の駅ちぢみの里おぢや着(仮眠)

道の駅5:50⇒燕三条⇒寺泊魚の市場⇒13:15 チャレンジランド杉川(泊)

5/14(日) チャレンジランド杉川7:00 ⇒ 慈光寺(駐車)7:45 → (尾根線経由)

10:45 越後白山頂上(昼食) 11:15⇒(田村線下山) 12:45 慈光寺(駐車)

【内容】 5/13(土)

千葉近隣の車は前夜8時に千葉北口を出発、ちぢみの里に着いたときに雨が降り出して来ました。テント仮眠より目覚めた時は本降りになり、今日は米山山行はやめて、山菜採集に意欲を燃やそうとことになりました。車での移動中、雨脚がますます強くなり、米山登山断念は的確だったと思えました。山菜摘み初心者のわたしは、数多の草が生い茂る中から蕨やギボウシを見つけ瞬く間に袋がいっぱいになるのを目の当たりにして驚愕、なんとか見つけたいと目を凝らしますがなかなか見つからず。ベテランや経験者の方々は車の中からも見えるらしく、色々山菜の名前を連発していました。途中、今夜の食材を調達してチャレンジランド杉川へ。到着が早すぎ、中に入るには宿泊料金にプラスされるというので、また近辺で山菜採り、山蓆、蕨が沢山採れましたが、帰路2~3人の足に蛭が吸いついているのを発見、大騒ぎになりました。夜は山菜のバイキング、タラの芽のてんぷら、鯛のあら汁と刺身、ちらし寿司などなど料理上手な方たちの腕に甘えて、舌鼓を打たせて頂きました。



5/14(日) 翌日は、雨上がりの晴天、昨日の二の舞にならないように『マヒルのジョニー』をたっぷりと吹きかけて蛭対策を万全にしました。まずは慈光寺を参拝、杉木立に囲まれた厳かなお寺です。



慈光寺の駐車場にて



慈光寺に向かう道中の仏様



山門への階段



境内は回廊状になっており巡回できる

慈光寺からは沢沿いを行き、尾根線に取りつくといきなり急登で、標高差 300 メートルを一気に稼ぐだけあり、慣れない足と心肺が喘いでいます。とは言え、ブナや楓、カシ、ナラなどの新緑が美しく、爽快な気分で足を進めます。尾根筋は、風が吹き抜けて、左手には新潟の田園地帯が広がり残雪の山々も望むことができます。また、山道際には、葷の一群を見つけたり、木々の間に山つつじや三つ葉つつじ、雪椿の鮮やかな赤が見えたりと飽きることはありません。



雪が出てきてキックステップで登る



遠くの白い山は飯豊方面と思われる

山菜好きの方々は、こしあぶらを見つけるために上を見ているようですが、花好きはどうしても下ばかりを見てしまいます。八合目あたりから所々に残雪がありましたが、アイゼンを着けるほどではなく、雪解け際には、ショウジョウバカマが可憐な花を今がさかりとばかりに咲いています



やがて、立派な避難小屋に着きました。ここからは、頂上では見られない会津側の山々(守門岳・浅草岳)を見ることができます。良く晴れているので、頂上からの景色を期待して急ぎます。頂上には雪に潰されてしまったのでしょうか、祠の屋根だけがありました。ここで記念撮影、水を湛えた水田の広がる越後平野、日本海に横たわる佐渡、粟島、右手方向に飯豊山塊、月山、これから登りたい山を背景に貴重な記念撮影となりました。



山頂付近の雪田からたぶん粟ヶ岳



遠く 右：角田山 左：弥彦山



越後白山山頂で記念写真



背後を越後平野に変えて記念撮影

下山コースは、田村線をたどりました。花より山菜チームはこしあぶらを、花好きはまだまだ見られるイワウチワなどの花を楽しみながら、急坂を1間半掛けて下山しました。

今回は会員となって、やっと2回目の山行でしたが、山の素晴らしさは勿論のこと、山菜を見分ける目をもっている方々、その調理方法も熟知している方たちを目の当たりにして、感動させられました。その方々と食担当のおかげで美味しく、豪華な夕食朝食を頂くことができ、またリーダーの企画、車、テントそして運転の提供で、安全で楽しい山行に参加することができました。

新しいグループになじむのは気の重いところが無きにしもあらずでしたが、安全に山に登ることを目的としているのはみな同じで、山行に参加することで本当のちば山のメンバーになっていくということが分かりました。これからも、仕事と他の趣味との折り合いを付けつつ参加して行きたいと思えます。

記録：磯部菊子